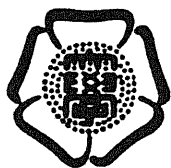


第143号



# お茶の水女子大学学报

平成3年11月1日  
お茶の水女子大学庶務課

## 目次

◇関係法令	1
◇学内規則	2
お茶の水女子大学学則の一部改正	2
お茶の水女子大学大学院規則の一部改正	2
お茶の水女子大学学位規則の一部改正	2
お茶の水女子大学学生部長候補者 選考規程の一部改正	5
お茶の水女子大学における大型設備の 調達に係る仕様策定等に関する取扱要項	5
◇人 事	7
◇各種委員会委員	12
◇学 事	22
平成4年度お茶の水女子大学大学院 人文科学研究科（修士課程）学生募集要項	22
◇諸 報	30
平成3年9月卒業式・学位記授与式について	30
総合防災訓練について	30
海外渡航	31
研 修	32
レクリエーション行事	33
健康診断	33
共済組合事業の実施状況等について	34
◇日 誌	35

## 関係法令

### 【政 令】

- 国家公務員宿舎法施行令の一部を改正する政令  
(政令第280号、9月6日官報)

### 【省 令】

- 国家公務員宿舎法施行規則の一部を改正する省令  
(大蔵省令第42号、9月6日官報)
- 国家公務員等の旅費支給規程の一部を改正する省令  
(大蔵省令第43号、9月19日官報)

### 【規 則】

- 人事院規則16-0（職員の災害補償）の一部を改正  
する人事院規則  
(人事院規則16-0-11、9月30日官報)

### 【告 示】

- 平成3年度において使用される小学校、中学校、高  
等学校、盲学校、聾学校及び養護学校の教科書の定  
価を許可した件(文部省告示第97号、8月26日官報)
- 平成4年度科学研究費補助金の課題を公募する件  
(文部省告示第99号、9月5日官報)

## 学 内 規 則

### ○お茶の水女子大学学則第2号

お茶の水女子大学学則の一部を改正する学則を次のように定める。

平成3年9月25日

お茶の水女子大学長 河野 重男

お茶の水女子大学学則の一部を改正する学則

お茶の水女子大学学則（昭和24年5月31日制定）の一部を次のように改正する。

第2章中「第2節 卒業及び学士称号」を「第2節 卒業及び学位」に改める。

第16条を次のように改める。

**第16条** 卒業者に対しては、別に定めるところにより、学士の学位を授与する。

#### 附 則

この学則は、平成3年9月25日から施行し、平成3年7月1日から適用する。

### ○お茶の水女子大学規則第5号

お茶の水女子大学大学院規則の一部を改正する規則を次のように定める。

平成3年9月25日

お茶の水女子大学長 河野 重男

お茶の水女子大学大学院規則の一部を改正する

#### 規則

お茶の水女子大学大学院規則（昭和38年4月24日制定）の一部を次のように改正する。

第17条を次のように改める。

**第17条** 各研究科において、課程を終了した者に対しては、別に定めるところにより、修士又は博士の学位を授与する。

#### 附 則

この規則は、平成3年9月25日から施行し、平成3年7月1日から適用する。

### ○お茶の水女子大学規則第6号

お茶の水女子大学学位規則の一部を改正する規則を次のように定める。

平成3年9月25日

お茶の水女子大学長 河野 重男

お茶の水女子大学学位規則の一部を改正する規

#### 則

お茶の水女子大学学位規則（昭和38年4月24日制定）

の一部を次のように改正する。

第1条中「第12条並びにお茶の水女子大学大学院規則第17条第2項」を「第13条第1項」に改める。

第2条第1項中「修士」を「学士、修士」に改める。

第2条第3項を削り、同条第2項を次のように改める。

2 学位に付記すべき専攻分野の名称については、別に定める。

第2条の次に次の一条を加える。

（学位の名称）

**第2条の2** 学位を授与された者は、その学位の名称を用いるときは、本学名を付記するものとする。

第4章を削り、「第3章 博士の学位」を「第4章 博士の学位」に、「第2章 修士の学位」を「第3章 修士の学位」に改め、第1章の次に次の一章を加える。

### 第2章 学士の学位

（学位授与の要件）

**第2条の3** 学士の学位は、本学を卒業した者に授与する。

（学位記の様式）

**第2条の4** 学長は、前条の規定に基づいて、学位を授与すべき者に別記第1号様式による学位記を授与する。

第3条を次のように改める。

**第3条** 修士の学位は、本学大学院の修士課程を終了した者に授与する。

第11条見出し中「学位の授与」を「学位記の様式」に改め、同条中「前条の報告」を「第3条の規定」に、「には所定の」を「に別記第2号様式による」に改める。

第12条（見出しを含む。）を次のように改める。

### 第12条 削除

第14条第1項を次のように改める。

博士の学位は、本学大学院の博士課程を修了した者に授与する。

第24条中「学位の授与、学位の名称」を「学位記の様式」に改め、「、第12条」を削り、「「研究科長」と」の次に「、第11条中「別記第2号様式」とあるのは「別記第3号様式又は第4号様式」と」を加える。

別記様式を次のように改める。

別記第1号様式 (第3条の2関係)

第 号	大学印	学部印	卒業証書・学位記
	お茶の水女子大学長 氏 名 印	お茶の水女子大学○○学部長 氏 名 印	本籍(都道府県)
	右の認定により本学を卒業したので 学士(○○○)の学位を授与する	本学 ○○学部 ○○○学科所定の 課程を修めたことを認める	氏名
		年 月 日	年 月 日生

別記第2号様式 (第11条関係)

第 号	学位記
	本籍(都道府県)
	氏名
	年 月 日生
	本学大学院 ○○○研究科 ○○○専攻の修士課程において 所定の単位を修得し学位論文の 審査及び最終試験に合格したので 修士(○○○)の学位を授与する
	年 月 日
	お茶の水女子大学 印

別記第3号様式 (第24条関係)

博士学位記 本籍(都道府県)	氏名	年 月 日生
本学大学院人間文化研究科		
○○○専攻の博士課程を		
修了したので博士(○○○)の		
学位を授与する		
論文題目		
年 月 日		
お茶の水女子大学		
博甲第 号		
印		

別記第4号様式 (第24条関係)

博士学位記 本籍(都道府県)	氏名	年 月 日生
本学に学位論文を提出しその		
審査及び試験に合格しかつ所定の		
学力を有するものと認定したので		
博士(○○○)の学位を授与する		
論文題目		
年 月 日		
お茶の水女子大学		
博乙第 号		
印		

附 則

この規定は、平成3年9月25日から施行し、平成3年7月1日から適用する。

### ○お茶の水女子大学規則第7号

お茶の水女子大学学生部長候補者選考規程の一部を改正する規程を次のように定める。

平成3年9月25日

お茶の水女子大学長 河野 重男

お茶の水女子大学学生部長候補者選考規程の一部を改正する規程

お茶の水女子大学学生部長候補者選考規程（昭和54年10月24日制定）の一部を次のように改正する。

第5条第1項中「第2次選挙の候補者4人を選出する」を「上位4人を第2次選挙の候補者とする。ただし、末位に同点者があるときは、これを加える」に改める。

第5条第2項を第3項とし、同項を次のように改める。

3 前2項の規定により選出された候補者の氏名は、得票順位及び得票数を示さず、五十音順に列記して告示するものとする。

第5条第1項の次に次の一項を加える。

2 前項の規定により選出された候補者の中に1人も入っていない学部がある場合は、当該学部の最高得点者（同点者があるときは、年長者）をこれに加える。

#### 附 則

この規定は、平成3年9月25日から施行する。

### ○お茶の水女子大学における大型設備の調達に係る仕様策定等に関する取扱要項

（平成3年6月27日）  
学 長 決 議

#### 第1 趣 旨

お茶の水女子大学における大型設備の調達（政府調達に関する協定が適用される設備の調達をいう。以下同じ。）を行う場合の取扱については、この要項の定めるところによる。

#### 第2 定 義

- この要項において「部局」とは、事務局、学生部、各学部、大学院人間文化研究科、附属図書館、女性文化研究センター、生活環境研究センター、情報処理センター、保健管理センター、附属高等学校、附属中学校、附属小学校及び附属幼稚園をいう。
- この要項において「部局長」とは、前項の部局長をいう。

### 第3 仕様策定委員会の設置

- 部局において、大型設備の調達を行う場合には、その都度、調達しようとする設備（以下「設備」という。）の仕様の策定を行うため、当該部局に仕様策定の組織（以下「仕様策定委員会」という。）を設けるものとする。
- 部局長が必要と認めた場合は、他の部局又は他大学等の職員を委員に委嘱することができる。この場合においては、あらかじめ当該他の部局又は他大学等の長の同意を得なければならない。
- 委員の委嘱は、次の各号に掲げる者について行うものとする。
  - 当該設備の供用に直接関係する職員 2人
  - 当該設備に関し専門的な知識を有する職員 3人
  - 当該部局の事務長又はこれに準ずる職員
- 仕様策定委員会に、委員長を置き、委員の互選により選出する。
- 委員長は、仕様策定委員会を招集し、議長となる。
- 二部局以上の共同利用に係る設備の仕様策定に当たっては、当該部局間で協議して代表部局を定めるものとし、代表部局長は関係部局長と協議のうえ、委員を委嘱するものとする。
- 部局長又は代表部局長は、委員の委嘱に当たっては委員の任務を書面により明らかにして行うものとする。

### 第4 仕様策定委員会の任務

- 仕様策定委員会は、仕様の策定に当たり、次に掲げる事項について、専門的観点から調査・検討するものとする。
  - 設備の機能及び性能等に関すること。
  - 設備に関する関係資料等の収集に関すること。
  - その他仕様の策定に関し必要と認める事項。
- 仕様策定委員会は、関係資料等の収集に当たって可能な限り多数の供給者から幅広く、かつ、公平に行うものとする。
- 仕様内容は、教育研究上の必要性に配慮しつつも可能な限り必要最小限のものとし、競争性が確保されるよう仕様を策定するものとする。
- 仕様策定委員会により策定された仕様内容原案は、可能な限り、多数の供給者に対して公平に説明会を開くことなどにより説明を行い、供給者からの意見を聴取した上で仕様内容を決定するものとする。

5 仕様策定委員会は、仕様の策定過程において、教育研究上の必要性により機種が特定されることが想定される場合には、仕様内容の決定前に、部局長の承認を得るものとする。

6 仕様策定委員会は、開催の都度、審議内容についての議事要旨を作成するものとする。

#### 第5 報告

仕様策定委員会は、仕様を策定したときは、第4の第6項に規定する議事要旨を添付して部局長に報告するものとする。

#### 第6 技術審査職員

1 支出負担行為担当官は、お茶の水女子大学予算執行職員の補助者の官職指定及び事務の範囲の基準を定める規程（昭和61年2月4日制定）第3条の規定に基づいて、技術審査を行う職員（以下「技術審査職員」という。）を命ずるものとする。この場合においては、処理すべき事務の範囲を明らかにした書面を、交付するものとする。

2 支出負担行為担当官が必要と認めた場合は、他大学等の職員に委任することができる。この場合においては、あらかじめ当該他大学等の長の同意を得なければならない。

3 技術審査職員は、複数人発令するものとする。

4 技術審査職員と仕様策定委員会の委員との重任は、原則として認めないものとする。

#### 第7 技術審査職員の職務

1 技術審査は、応札者の提案した設備が本学の仕様を満たしているか否かについて、応札者から提出された書類等に基づき行うほか、応札者から十分な説明を受けて行うものとする。

2 技術審査に当たっては、応札仕様の一覧表及び技術審査結果を記録するための技術審査表を作成するものとする。

3 技術審査職員は、技術審査の結果について報告書を作成し、前項の応札仕様の一覧表等を添付し、支出負担行為担当官に報告するものとする。

#### 第8 技術審査

支出負担行為担当官は、技術審査の結果不合格となった応札者に対しては、理由を付した書面で通知するものとする。

#### 附 則

1 この要項は、平成3年7月1日から実施する。

2 この要項は、当分の間、第1に規定する大型設備

の調達のほか、予定価格が1,000万円以上の設備の調達（部局長が教育研究上の必要性から特定銘柄を選定することがやむを得ないと認めた場合を除く。）を行う場合にも適用するものとする。

# 人 事

## ◎常勤職員

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	異 動 区 分	異動前の所属・官職
3. 8.20	尾 田 幸 雄	附属高等学校長事務代理 (免)	公 の 名 称	(文教育学部教授)
〃	三 木 紀 人	附属学校部長事務代理 (命)	〃	〃
〃	〃	附属高等学校長事務代理 (命)	〃	〃
3. 8.22	〃	附属高等学校長事務代理 (免)	〃	〃
3. 9. 7	〃	附属学校部長事務代理 (免)	〃	〃
3. 9.11	澤 島 侑 子	理学部長事務代理 (命)	〃	(理学部教授)
3. 9.16	加 藤 裕 二	会 計 課	配 置 換	附属学校部
3. 9.17	澤 島 侑 子	理学部長事務代理 (免)	公 の 名 称	(理学部教授)
3. 9.30	小 林 紀 満	辞職承認	退 職	用務員(会計課志賀高原体育運動場)
3.10. 1	山 本 多 蔵	文部技官 (会計課志賀高原体育運動場)	採 用	
〃	市 川 哲 彦	助手 (理学部)	〃	
〃	館 かおる	助教授 (女性文化研究センター)	昇 任	講 師 (女性文化研究センター)
〃	春 日 喬	評 議 員 併任期間5. 9.30まで	併 任	(文教育学部教授)
〃	徳 丸 吉 彦	〃	〃	〃
〃	宮 島 喬	〃	〃	〃
〃	能 村 堆 子	〃	〃	(理学部教授)
〃	富 田 功	〃	〃	〃
〃	柴 田 文 明	〃	〃	〃
〃	板 倉 壽 郎	〃	〃	(家政学部教授)
〃	島 田 淳 子	〃	〃	〃
〃	富 田 守	〃	〃	〃
〃	佐々木 信 一	復 職	復 職	庶務課

## ◎非常勤職員

発令年月日	氏名	異動内容	期間	備考
3.9.9	貴志美代子	事務補佐員 (大学院人間文化研究科)	3.9.9~4.3.31	
3.9.20	霜山純子	事務補佐員(文教育学部)	3.9.20~4.3.31	
3.9.30	小林一二三	辞職承認		会計課
3.10.1	大森和子	事務補佐員(会計課)	3.10.1~4.3.31	
〃	山本里恵	臨時用務員 (会計課志賀高原体育運動場)	〃	
〃	伊藤晃子	事務補佐員(学生課)	3.10.1~4.3.30	
〃	美濃幸子	事務補佐員(入学主幹付)	〃	
〃	吉江実穂	教務補佐員(文教育学部)	3.10.1~4.3.31	
〃	田辺洋子	教務補佐員(家政学部)	〃	
〃	内村理奈	〃	〃	
〃	平田玲子	〃	〃	
〃	山越成美	〃	〃	
3.10.7	小玉安恵	辞職承認		文教育学部
3.10.11	高橋由紀	〃		女性文化研究センター
3.10.12	金聖禮	事務補佐員(附属図書館)	3.10.12~4.3.31	

## ◎非常勤講師

発令年月日	氏名	異動内容	期間	備考
3.9.1	小林寛道	講師(文教育学部)	3.9.1~3.9.30	東京大学教授
3.9.10	スティーブン・マイケルパワー	辞職承認		講師(附属高等学校)
3.9.30	白石清	〃		講師(理学部)
3.10.1	高橋達史	講師(文教育学部)	3.10.1~4.3.31	東京経済大学助教授
〃	山崎喜比古	〃	〃	東京大学助手
〃	寺西三千子	〃	〃	
〃	高野真佐子	〃	〃	
〃	飯島千秋	〃	〃	横浜商科大学助教授
〃	山室恭子	〃	〃	東京大学助手
〃	林義勝	〃	〃	明治大学助教授
〃	山本茂	〃	〃	埼玉大学教授
〃	柴田弘捷	〃	〃	専修大学教授
〃	寺阪昭信	〃	〃	流通経済大学教授
〃	田林明	〃	〃	筑波大学助教授



発令年月日	氏名	異動内容	期間	備考
3.10. 1	堀内清司	講師(文教育学部)	3.10. 1~4. 3.31	日本大学教授
〃	伊藤美重子	〃	〃	
〃	戸沼市子	〃	〃	
〃	高倉翔	〃	〃	筑波大学教授
〃	岩本俊郎	〃	〃	立正大学教授
〃	清水康幸	〃	〃	野間教育研究所研究員
〃	桑原敏明	〃	〃	筑波大学教授
〃	佐々木正人	〃	〃	早稲田大学講師
〃	安藤清志	〃	〃	東京女子大学教授
〃	中村泉	〃	〃	帝京大学助教授
〃	宮内孝知	〃	〃	早稲田大学助教授
〃	末松弘行	〃	〃	東京大学教授
〃	渡辺裕	〃	〃	玉川大学助教授
〃	柴垣和夫	〃	〃	東京大学教授
〃	山下晋司	〃	〃	東京大学助教授
〃	浦達也	〃	〃	江戸川大学助教授
〃	松平信久	〃	〃	立教大学教授
〃	小林千枝子	〃	〃	作新学院大学助教授
〃	吉田博子	〃	〃	淑徳保育生活文化専門 学校講師
〃	服藤早苗	〃	〃	
〃	渡辺真紀子	〃	〃	中央学院大学講師
〃	丸山武美子	〃	〃	
〃	河野徹	〃	〃	法政大学教授
〃	阪東宏	〃	〃	明治大学教授
〃	黒部善之	〃	〃	附属小学校教諭
〃	和田淳	〃	〃	附属小学校教諭
〃	若林功	講師(理学部)	〃	東京農工大学助教授
〃	伊藤清三	〃	〃	杏林大学教授
〃	宮島静雄	〃	〃	東京理科大学助教授
〃	寶来正子	〃	〃	東京工業大学助教授
〃	俣野博	〃	〃	東京大学教授
〃	伊藤光弘	〃	〃	筑波大学助教授
〃	上野健爾	〃	〃	京都大学教授
〃	志賀啓成	〃	〃	東京工業大学助教授
〃	野尻伸一	〃	〃	

発令年月日	氏名	異動内容	期間	備考
3.10. 1	林 利彦	講師 (理学部)	3.10. 1~4. 3.31	東京大学教授
〃	井上圭三	〃	〃	東京大学教授
〃	葛原弘美	〃	〃	理化学研究所主任研究員
〃	池田龍一	〃	〃	筑波大学教授
〃	今市涼子	〃	〃	玉川大学助教授
〃	守 隆夫	〃	〃	東京大学助教授
〃	溝口 元	〃	〃	立正大学短期大学部助教授
〃	須藤和夫	〃	〃	東京大学助教授
〃	雨宮昭南	〃	〃	東京大学助教授
〃	加藤 栄	〃	〃	東京大学教授
〃	笠原道弘	〃	〃	帝京大学教授
〃	中村正久	〃	〃	帝京短期大学助教授
〃	臼田秀明	〃	〃	帝京大学助教授
〃	溝口紀子	〃	〃	
〃	有山正孝	〃	〃	電気通信大学教授
〃	篠原昌彦	〃	〃	東京女子大学助教授
〃	西原清一	〃	〃	筑波大学助教授
〃	脇田 宏	〃	〃	東京大学教授
〃	佐藤倫子	〃	〃	東芝総合研究所研究員
〃	佐藤道幸	〃	〃	附属中学校教諭
〃	大場幸夫	講師 (家政学部)	〃	大妻女子大学教授
〃	平木典子	〃	〃	日本女子大学教授
〃	内藤周弼	〃	〃	東京大学助教授
〃	山口静子	〃	〃	味の素中央研究所研究員
〃	長尾慶子	〃	〃	文教大学女子短大部講師
〃	沖谷明紘	〃	〃	日本獣医畜産大学教授
〃	山中英明	〃	〃	東京水産大学教授
〃	小野寺義幸	〃	〃	農業総合研究所技官
〃	石川寛子	〃	〃	
〃	磯貝 庄	〃	〃	東邦大学教授
〃	飛田満彦	〃	〃	東京都立工業高専校長
〃	栃原 裕	〃	〃	国立公衆衛生院技官
〃	鎌田佳伸	〃	〃	東京農工大学助手

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	期 間	備 考
3.10. 1	成 田 汀	講師 (家政学部)	3.10. 1~4. 3.31	
〃	中 山 和 郎	〃	〃	繊維高分子材料研究所技官
〃	坂 本 満	〃	〃	国立歴史民俗博物館教授
〃	正 田 彬	〃	〃	上智大学教授
〃	田 端 光 美	〃	〃	日本女子大学教授
〃	在 塚 礼 子	〃	〃	埼玉大学助教授
〃	井 上 勝 也	〃	〃	筑波大学助教授
〃	銀 林 浩	〃	〃	明治大学教授
〃	岩 立 京 子	〃	〃	東京学芸大学助教授
〃	飽 田 典 子	〃	〃	東京都立教育研究所主任
〃	石 黒 一 憲	〃	〃	東京大学助教授
〃	海老澤 敏	講師 (大学人間文化研究科)	〃	国立音楽大学教授
〃	養 老 孟 司	〃	〃	東京大学教授
〃	八 木 江 里	講師 (女性文化研究センター)	〃	東洋大学教授
3.10. 7	真 柴 晶 彦	講師 (附属高等学校)	3.10 7~3.10.31	東京都立南高等学校教諭
3.10. 8	プリッチャード・ジェイムズ	講師 (附属中学校)	3.10 8~3.11.20	
〃	〃	講師 (附属高等学校)	〃	
3.10.15	ロイド・ヘレン・マリー	講師 (附属中学校)	3.10.15~4. 3.31	

## ◆各種委員会委員◆

1. ( ) は事務担当課
2. \*印は委員長又は議長
3. 任期無記入は官職指定

## 評議会 (庶務課)

官 職	氏 名	任 期
学 長	*河 野 重 男	2. 2.16~4. 2.15
文 教 育 学 部 学 長	大 口 勇 次 郎	2.10. 1~4. 9.30
理 学 部 長	細 矢 治 夫	2. 4. 1~4. 3.31
家 政 学 部 長	荒 川 信 彦	3. 4. 2~5. 4. 1
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 長	森 隆 夫	3. 4. 1~6. 3.31
附 属 図 書 館 長	浅 井 清	3. 4. 2~5. 4. 1
附 属 学 校 部 長	尾 田 幸 雄	2. 4. 1~5. 3.31
文 教 育 学 部 教 授	春 日 喬	3.10. 1~5. 9.30
文 教 育 学 部 教 授	徳 丸 吉 彦	3.10. 1~5. 9.30
文 教 育 学 部 教 授	宮 島 喬	3.10. 1~5. 9.30
理 学 部 教 授	能 村 堆 子	3.10. 1~5. 9.30
理 学 部 教 授	富 田 功	3.10. 1~5. 9.30
理 学 部 教 授	柴 田 文 明	3.10. 1~5. 9.30
家 政 学 部 教 授	板 倉 壽 郎	3.10. 1~5. 9.30
家 政 学 部 教 授	島 田 淳 子	3.10. 1~5. 9.30
家 政 学 部 教 授	富 田 守	3.10. 1~5. 9.30

(常時評議会に出席できる者)

官 職	氏 名	任 期
事 務 局 長	守 屋 尚	

学 生 部 長	小 林 彰 夫	2. 1. 1~3.12.31
一 般 教 育 委 員 会 委 員 長	藤 原 正 彦	3. 4. 1~4. 3.31
教 務 委 員 会 委 員 長	窪 添 慶 文	3. 4. 1~4. 3.31
女 性 文 化 研 究 セ ン タ ー 長	清 水 碩	3. 4. 1~5. 3.31
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 長	五 十 嵐 脩	3. 4. 1~5. 3.31

## 基本計画委員会 (庶務課)

官 職	氏 名	任 期
学 長	*河 野 重 男	
文 教 育 学 部 学 長	大 口 勇 次 郎	
理 学 部 長	細 矢 治 夫	
家 政 学 部 長	荒 川 信 彦	
大 学 院 人 間 文 化 研 究 科 長	森 隆 夫	
附 属 図 書 館 長	浅 井 清	
附 属 学 校 部 長	尾 田 幸 雄	
学 生 部 長	小 林 彰 夫	
事 務 局 長	守 屋 尚	

## 組織運営検討委員会 (庶務課)

(委員名省略。上記委員会と同じ)

## 将来構想検討委員会 (庶務課)

官 職	氏 名	任 期
文 教 育 学 部 教 授	田 中 真 砂 子	2.10. 1~4. 9.30
文 教 育 学 部 助 教 授	江 原 由 美 子	
理 学 部 教 授	富 永 靖 徳	
理 学 部 教 授	福 田 豊	

家政学部 教授	島田 淳子	2.10. 1~4. 9.30
家政学部 助教授	無藤 隆	
大学院人間文化 研究科教授	*徳丸 吉彦	
女性文化研究 センター助教授	館 かおる	
生活環境研究 センター教授	倉田 忠男	

## 発明委員会 (庶務課)

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 部長	大口 勇次郎	2.10. 1~4. 9.30
理学部長	*細 矢 治 夫	
家政学部長	荒川 信彦	
文教育学部 助 教 授	内 藤 俊 史	
理学部教授	伊 藤 厚 子	2.10. 1~4. 9.30
理学部教授	内 嶋 善兵衛	
家政学部 教 授	小 川 昭二郎	
生活環境研究 センター教授	倉田 忠男	

## 組替え DNA 実験安全委員会 (庶務課)

官 職	氏 名	任 期
研究者	理学部教授 *清水 碩	1.12.16 } 3.12.15
研究者	生活環境研究 センター教授 大橋 昌子	
自然科学	理学部教授 瀬野 信子	
自然科学	家政学部 教 授 本間 清一	2.12.16 } 3.12.15
人文科学	文教育学部 教 授 尾田 幸雄	1.12.16 } 3.12.15
社会科学	家政学部 講 師 山本 政人	

官職指定	保健管理セ ンター所長	奥野 剛	
官職指定	理学部 事務 長	薄葉 章	
官職指定	家政学部 事務 長	高野 佳征	
安 全 主 任 者	理学部教授	能村 堆子	1.12.16 } 3.12.15

## 事務改善研究委員会 (庶務課)

官 職	氏 名	任 期
事務局長	*守屋 尚	2.10. 1~4. 9.30
庶務課長	高木 義紀	
会計課長	小田野 弘和	
施設課長	南 芳美	
学務課長	福田 みゆき	
学生課長	阿部 清	
入学主幹	佐藤 茂夫	
庶務課 課長補佐	金井 晃	
会計課 課長補佐	海老原 葵	
学務課 課長補佐	三井田 勝	
文教育学部 事務 長	細井 隆一	
理学部 事務 長	薄葉 章	
家政学部 事務 長	高野 佳征	
附属図書館 事務 長	菊池 昭夫	

## レクリエーション運営委員会 (庶務課)

官 職	氏 名	任 期
事務局長	*守屋 尚	2.10. 1~4. 9.30

庶務課長	高木 義紀
会計課長	小田野 弘和
施設課長	南 芳美
学務課長	福田 みゆき
学生課長	阿部 清
入学主幹	佐藤 茂夫
文教育学部事務長	細井 隆一
理学部長	薄葉 章
家政学部事務長	高野 佳征
附属図書館事務長	菊池 昭夫
庶務課長補佐	金井 晃
会計課長補佐	海老原 葵
学務課長補佐	三井田 勝
附属学校部事務室長	古賀 智

## 予算委員会 (会計課)

官職	氏名	任期
文教育学部長	大口 勇次郎	
理学部長	細矢 治夫	
家政学部長	荒川 信彦	
大学院人間文化研究科長	森 隆夫	
文教育学部教授	内藤 博夫	3. 4. 1~5. 3.31
文教育学部教授	加賀 秀夫	2.10. 1~4. 9.30
理学部教授	能村 堆子	3. 4. 1~5. 3.31

理学部教授	福田 豊	2. 4. 1~4. 3.31
家政学部教授	中島 利誠	2. 4. 1~4. 3.31
家政学部教授	水野 悌一	3. 4. 1~5. 3.31
大学院人間文化研究科教授	井内 昇	3. 4. 1~5. 3.31
附属図書館長	*浅井 清	
女性文化研究センター長	清水 碩	
生活環境研究センター長	五十嵐 脩	
事務局長	守屋 尚	
学生部長	小林 彰夫	
会計課長	小田野 弘和	

## 防災委員会 (会計課)

官職	氏名	任期
学長	*河野 重男	
文教育学部長	大口 勇次郎	
理学部長	細矢 治夫	
家政学部長	荒川 信彦	
大学院人間文化研究科長	森 隆夫	
附属図書館長	浅井 清	
附属学校部長	尾田 幸雄	
学生部長	小林 彰夫	
保健管理センター所長	奥野 剛	
事務局長	守屋 尚	
庶務課長	高木 義紀	

会計課長	小田野 弘 和	
施設課長	南 芳 美	
学務課長	福 田 みゆき	
学生課長	阿 部 清	

## 購入物品機種選定委員会（会計課）

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 教 授	内 藤 博 夫	2. 4. 1~4. 3.31
文教育学部 助 教 授	内 藤 俊 史	
理学部教授	*伊 藤 厚 子	
理学部教授	富 田 功	
生活環境研究 センター教授	倉 田 忠 男	
家政学部 教 授	小 川 昭 二 郎	

## 施設計画委員会（施設課）

官 職	氏 名	任 期
学 長	*河 野 重 男	
文 教 育 学 部 部 長	大 口 勇 次 郎	
理 学 部 長	細 矢 治 夫	
家 政 学 部 長	荒 川 信 彦	
大学院人間文化 研 究 科 長	森 隆 夫	3.10. 1~5. 9.30
文 教 育 学 部 教 授	白 藤 禮 幸	
文 教 育 学 部 教 授	徳 丸 吉 彦	3.10. 1~5. 9.30
理 学 部 教 授	柴 田 文 明	3. 4. 1~5. 3.31
理 学 部 教 授	佐 藤 浩 史	2. 4. 1~4. 3.31

家 政 学 部 助 教 授	飯 長 喜 一 郎	2. 4. 1~4. 3.31
家 政 学 部 教 授	板 倉 壽 郎	2. 4. 1~4. 3.31
大学院人間文化 研 究 科 教 授	井 内 昇	3. 4. 1~5. 3.31
附 属 図 書 館 長	浅 井 清	
附 属 学 校 部 長	尾 田 幸 雄	
女 性 文 化 研 究 セ ン タ ー 長	清 水 碩	
生 活 環 境 研 究 セ ン タ ー 長	五 十 嵐 脩	
事 務 局 長	守 屋 尚	
学 生 部 長	小 林 彰 夫	
一 般 教 育 委 員 会 委 員 長	藤 原 正 彦	

## 館山施設計画委員会（施設課）

官 職	氏 名	任 期
理 学 部 長	*細 矢 治 夫	2. 4. 1~4. 3.31
文 教 育 学 部 教 授	森 下 は る み	
文 教 育 学 部 助 教 授	杉 山 進	3.10. 1~5. 9.30
理 学 部 教 授	瀬 野 信 子	2.10. 1~4. 3.31
家 政 学 部 教 授	本 間 清 一	2.10. 1~4. 9.30
理 学 部 附 属 臨 海 実 験 所 助 教 授	根 本 心 一	
附 属 高 等 学 校 教 頭	早 崎 捷 治	
附 属 中 学 校 教 頭	大 岩 順 子	
附 属 小 学 校 教 頭	古 市 憲 一	
附 属 幼 稚 園 教 頭	村 石 京	
学 生 部 長	小 林 彰 夫	

事務局長	守屋 尚	
会計課長	小田野 弘和	
施設課長	南 芳美	

廃水管理委員会 (施設課)

官職	氏名	任期
文教育学部 講師	杉谷 隆	3.10. 1~5. 9.30
理学部 助教授	林 正男	
理学部教授	富永 靖徳	
理学部 助教授	藤枝 修子	
家政学部 助教授	久保田 紀久枝	
家政学部 講師	仲西 正	
生活環境研究 センター教授	*五十嵐 脩	
附属高等学校 教諭	石井 朋子	
附属中学校 教諭	佐々木 和枝	
会計課長	小田野 弘和	
施設課長	南 芳美	

教務委員会 (学務課)

官職	氏名	任期
文教育学部 教授	*窪 添慶文	2. 4. 1~4. 3.31
文教育学部 助教授	寺崎 弘昭	3. 4. 1~5. 3.31
理学部教授	富永 靖徳	3. 4. 1~5. 3.31
理学部 助教授	桂 利行	3. 4. 1~4. 3.31
家政学部 教授	袖井 孝子	2. 7. 5~4. 3.31

家政学部 教授	島田 淳子	3. 4. 1~5. 3.31
一般教育 委員長	藤原 正彦	
学生部長	小林 彰夫	

一般教育委員会 (学務課)

官職	氏名	任期
文教育学部 助教授	小風 秀雅	2. 4. 1~4. 3.31
文教育学部 助教授	今西 典子	3. 4. 1~5. 3.31
理学部教授	*藤原 正彦	2. 4. 1~4. 3.31
理学部 助教授	今野 美智子	3. 4. 1~5. 3.31
家政学部 助教授	牧野 カッコ	2. 4. 1~4. 3.31
家政学部 助教授	無藤 隆	3. 9.10~5. 3.31
学生部長	小林 彰夫	

公開講座委員会 (学務課)

官職	氏名	任期
文教育学部 教授	吉田 夏彦	2. 1.20~4. 1.19
文教育学部 教授	*徳丸 吉彦	2. 1.20~4. 1.19
文教育学部 教授	田中 真砂子	2. 1.20~4. 1.19
理学部 助教授	前田 ミチエ	2. 1.20~4. 1.19
理学部 助教授	菅本 晶夫	2. 1.20~4. 1.19
理学部教授	内嶋 善兵衛	2. 1.20~4. 1.19
家政学部 教授	小池 三枝	2. 1.20~4. 1.19
家政学部 助教授	篠塚 英子	2. 7. 5~4. 1.19
生活環境研究 センター助教授	富永 典子	2. 1.20~4. 1.19
学生部長	小林 彰夫	



## 学生委員会・学寮委員会・学生会館運営委員会

(学生課)

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 助 教 授	耳 塚 寛 明	3. 4. 1~5. 3.31
文教育学部 助 教 授	*秋 山 光 文	2. 4. 1~4. 3.31
理 学 部 助 教 授	桂 利 行	2. 4. 1~4. 3.31
理 学 部 助 教 授	益 田 祐 一	3. 4. 1~5. 3.31
家 政 学 部 講 師	柴 坂 寿 子	2. 4. 1~4. 3.31
家 政 学 部 講 師	仲 西 正	3. 4. 1~5. 3.31
学 生 部 長	小 林 彰 夫	

## 外国人留学生委員会 (学務課)

官 職	氏 名	任 期
文教育学部 助 教 授	平 田 悦 朗	
文教育学部 講 師	本 郷 逕 子	
人 文 学 科 研 究 科 教 授	*水 谷 信 子	3. 4.12~5. 3.31
文教育学部 助 教 授	宮 尾 正 樹	3. 4. 1~5. 3.31
理 学 部 助 教 授	林 正 男	3. 4. 1~5. 3.31
家 政 学 部 助 教 授	徳 井 淑 子	3. 4. 1~5. 3.31
家 政 学 部 講 師	柴 坂 寿 子	2. 4. 1~4. 3.31
大学院人間文化 研 究 科 教 授	山 本 秀 行	3. 4. 1~5. 3.31
学 生 部 長	小 林 彰 夫	

## 共用体育施設等管理運営委員会 (学生課)

官 職	氏 名	任 期
学 生 部 長	*小 林 彰 夫	

附 属 学 校 部 長	尾 田 幸 雄	
文教育学部 教 授	佐 藤 良 子	2. 6.16~4. 6.15
会 計 課 長	小 田 野 弘 和	
学 生 課 長	阿 部 清	

## 食堂運営委員会 (学生課)

官 職	氏 名	任 期
学 生 部 長	*小 林 彰 夫	
家 政 学 部 講 師	田 辺 新 一	2. 4. 1~4. 3.31
家 政 学 部 教 授	島 田 淳 子	2. 4. 1~4. 3.31
家 政 学 部 助 教 授	大 塚 恵	2. 7.21~4. 3.31
附 属 高 等 学 校 教 諭	小 竹 千 香 子	2. 4. 1~4. 3.31
事 務 局 長	守 屋 尚	
会 計 課 長	小 田 野 弘 和	
学 生 課 長	阿 部 清	
会 計 課 課 長 補 佐	海 老 原 葵	3. 4. 1~4. 3.31
学 生 自 治 会 委 員 長	畦 山 恵 理 子	
小 石 川 寮 運 営 委 員 長	熊 懐 理 恵 子	
大 山 寮 寮 長	岩 井 由 美	

## 保健管理センター運営委員会 (学生課)

官 職	氏 名	任 期
保 健 管 理 セ ン タ ー 所 長	*奥 野 剛	
文教育学部 教 授	野 島 秀 勝	2.10. 1~4. 9.30
文教育学部 教 授	佐 藤 良 子	2.10. 1~4. 9.30

理学部 助教	前田 ミチエ	3. 9.16~5. 9.15
理学部 教授	渡辺 洋子	3. 9.16~5. 9.15
家政学部 教授	島田 淳子	2. 9.16~4. 9.15
家政学部 教授	水野 悌一	2. 9.16~4. 9.15
附属高等学校 教諭	三浦 良子	2. 4. 1~4. 3.31
附属小学校 教諭	横山 善美	2. 4. 1~4. 3.31
文教育学部 助教授	杉山 進	
理学部 教授	清水 碩	
家政学部 教授	富田 守	
学生部長	小林 彰夫	
事務局長	守屋 尚	

## 入学試験委員会 (入学主幹室)

官職	氏名	任期
学長	*河野 重男	
文教育学部 部長	大口 勇次郎	
理学部長	細矢 治夫	
家政学部長	荒川 信彦	
文教育学部 助教授	高島 元洋	2. 4. 1~4. 3.31
文教育学部 助教授	鷹野 光行	3. 4. 1~5. 3.31
理学部 助教授	永野 肇	2. 4. 1~4. 3.31
理学部 助教授	真島 秀行	3. 4. 1~5. 3.31
家政学部 助教授	飯長 喜一郎	2. 4. 1~4. 3.31
家政学部 助教授	松浦 秀治	3. 4. 1~5. 3.31

学生部長	小林 彰夫	
事務局長	守屋 尚	
保健管理 センター所長	奥野 剛	
情報処理 センター長	伊藤 厚子	

## 入学者選抜方法研究委員会 (入学主幹室)

官職	氏名	任期
文教育学部 助教授	江原 由美子	2. 4. 1~4. 3.31
文教育学部 助教授	耳塚 寛明	3. 4. 1~5. 3.31
理学部 助教授	菅本 晶夫	2. 4. 1~4. 3.31
理学部 助教授	松本 勲武	3. 4. 1~5. 3.31
家政学部 講師	杉田 孝夫	2. 4. 1~4. 3.31
家政学部 講師	田辺 新一	3. 4. 1~5. 3.31
学生部長	*小林 彰夫	
教務委員長	窪添 慶文	
一般教育 委員長	藤原 正彦	

## 学芸員課程委員会 (文教育学部事務部)

官職	氏名	任期
文教育学部 教授	田中 真砂子	
文教育学部 教授	小川 剛	
文教育学部 助教授	*鷹野 光行	
文教育学部 助教授	秋山 光文	
文教育学部 助教授	安田 次郎	2.10. 1~4. 9.30
文教育学部 助教授	栗原 尚子	

文教育学部 助 教 授	平 野 由 起 子	2.10. 1~4. 9.30
理 学 部 助 教 授	渡 辺 洋 子	
家 政 学 部 助 教 授	徳 井 淑 子	

## 理学部附属臨海実験所運営委員会 (理学部事務部)

官 職	氏 名	任 期
理学部長	*細 矢 治 夫	
理学部附属 臨海実験所長	根 本 心 一	
理学部教授	富 永 靖 徳	2. 4. 1~4. 3.31
理 学 部 助 教 授	松 本 勲 武	2. 4. 1~4. 3.31
理学部教授	能 村 堆 子	2. 4. 1~4. 3.31
理学部教授	馬 場 昭 次	2. 4. 1~4. 3.31
文教育学部 助 教 授	田 宮 兵 衛	3. 4. 1~4. 3.31
文教育学部 助 教 授	栗 原 尚 子	3. 4. 1~5. 3.31
家 政 学 部 教 授	本 間 清 一	2. 4. 1~4. 3.31
生活環境研究 センター教授	大 橋 昌 子	2. 4. 1~4. 3.31
会 計 課 長	小 田 野 弘 和	
施 設 課 長	南 芳 美	

## 理学部ラジオアイソトープ実験室運営委員会

(理学部事務部)

官 職	氏 名	任 期
理学部長	*細 矢 治 夫	
R I実験室長	富 田 功	
放射線取扱 主 任 者	所 哲 司	

文教育学部 講 師	杉 谷 隆	3. 4. 1~4. 3.31
理学部教授	田 中 翠	2.10. 1~4. 9.30
理学部教授	清 水 碩	2.10. 1~4. 9.30
理 学 部 助 教 授	松 本 勲 武	2.10. 1~4. 9.30
家 政 学 部 助 教 授	大 塚 恵	3.10. 1~5. 9.30
生活環境研究 センター助教授	富 永 典 子	2.10. 1~4. 9.30

## 理学部極低温実験室運営委員会 (理学部事務部)

官 職	氏 名	任 期
理学部長	*細 矢 治 夫	
極低温実験 室 長	伊 藤 厚 子	
理学部教授	田 中 翠	2. 4. 1~4. 3.31
理学部教授	福 田 豊	2. 4. 1~4. 3.31
理 学 部 助 教 授	芦 原 坦	2. 4. 1~4. 3.31
生活環境研究 センター教授	倉 田 忠 男	2. 4. 1~4. 3.31
保安監督者	所 哲 司	

## 情報処理センター運営委員会 (理学部事務部)

官 職	氏 名	任 期
センター長	*伊 藤 厚 子	2.10. 1~4. 9.30
センター員 理学部・教授	佐 藤 浩 史	
文教育学部 教 授	土 屋 賢 二	3. 4. 1~4. 9.30
文教育学部 助 教 授	内 藤 俊 史	2.10. 1~4. 9.30
理 学 部 助 教 授	桂 利 行	2.10. 1~4. 9.30
理 学 部 助 教 授	藤 枝 修 子	2.10. 1~4. 9.30

家政学部 教授	小川 昭二郎	2.10. 1~4. 9.30
家政学部 助 教授	犬塚 伝也	2.10. 1~4. 9.30
大学院人間文化 研究科教授	富永 靖徳	2.10. 1~4. 9.30
女性文化研究 センター教授	原 ひろ子	2.10. 1~4. 9.30
生活環境研究 センター教授	大橋 昌子	2.10. 1~4. 9.30
付属図書館長	浅井 清	
学生部長	小林 彰夫	
一般教育委員会 委員長	藤原 正彦	

## 生活環境研究センター運営委員会(家政学部事務部)

官 職	氏 名	任 期
生活環境研究 センター長	*五十嵐 脩	
文教育学部 部長	大口 勇次郎	
理学部長	細矢 治夫	
家政学部長	荒川 信彦	
生活環境研究 センター教授	大橋 昌子	
生活環境研究 センター教授	倉田 忠男	
生活環境研究 センター助教授	富永 典子	
文教育学部 教授	井内 昇	3. 4. 1~5. 3.31
理学部教授	新関 滋也	2. 5. 1~4. 3.31
家政学部 教授	島田 淳子	2. 4. 1~4. 3.31
家政学部 教授	本間 清一	2. 4. 1~4. 3.31
事務局長	守屋 尚	

## 附属図書館運営委員会(附属図書館事務部)

官 職	氏 名	任 期
附属図書館長	*浅井 清	3. 4. 2~5. 4. 1
文教育学部 教授	白藤 禮幸	2.10. 1~4. 9.30
文教育学部 助 教授	今西 典子	2. 4. 1~4. 3.31
理学部 助 教授	今野 美智子	2. 4. 1~4. 3.31
理学部講師	亀井 理	2. 4. 1~4. 3.31
家政学部 教授	小池 三枝	2. 4. 1~4. 3.31
家政学部 講 師	杉田 孝夫	3. 4. 1~5. 3.31
生活環境研究 センター教授	大橋 昌子	2. 4. 1~4. 3.31
女性文化研究 センター教授	原 ひろ子	2. 4. 1~4. 3.31
一般教育 委員会委員長	藤原 正彦	

## 女性文化研究センター運営委員会

(附属図書館事務部)

官 職	氏 名	任 期
女性文化研究 センター長	*清水 碩	3. 4. 1~5. 3.31
文教育学部長	大口 勇次郎	
理学部長	細矢 治夫	
家政学部長	荒川 信彦	
大学院人間文化 研究科長	森 隆夫	
附属図書館長	浅井 清	
女性文化研究 センター教授	原 ひろ子	
女性文化研究 センター助教授	館 かおる	
文教育学部 教授	田中 真砂子	2. 4.23~4. 4.22

理学部教授	前田 侯子	2. 4. 23~4. 4. 22
家政学部教授	小池 三枝	2. 4. 23~4. 4. 22
事務局長	守屋 尚	

附属学校委員会 (附属学校部事務室)

官 職	氏 名	任 期
附属学校部長	*尾田 幸雄	
文教育学部教授	小川 剛	3. 4. 1~5. 3. 31
理学部教授	田中 翠	2. 4. 1~4. 3. 31
家政学部教授	島田 淳子	2. 4. 1~4. 3. 31
事務局長	守屋 尚	
附属小学校長	遠山 益	
附属中学校長	上野 浩道	
附属高等学校長	湯沢 雍彦	
附属幼稚園長	三木 紀人	
附属小学校教頭	古市 憲一	
附属中学校教頭	大岩 順子	
附属高等学校教頭	早崎 捷治	
附属幼稚園教頭	村石 京	

附属学校教育研究委員会 (附属学校部事務室)

官 職	氏 名	任 期
附属学校部長	*尾田 幸雄	
文教育学部教授	春日 喬	2. 4. 1~4. 3. 31
理学部教授	伊藤 厚子	2. 4. 1~4. 3. 31
家政学部教授	牧野 カツ子	2. 4. 1~4. 3. 31
教育学科助教授	宮原 修	3. 4. 1~5. 3. 31
児童学科教授	黒田 淑子	3. 4. 1~4. 3. 31
附属小学校長	遠山 益	
附属中学校長	上野 浩道	
附属高等学校長	湯沢 雍彦	
附属幼稚園長	三木 紀人	
附属小学校教頭	古市 憲一	
附属中学校教頭	大岩 順子	
附属高等学校教頭	早崎 捷治	
附属幼稚園教頭	村石 京	
附属小学校教諭	若林 富男	2. 4. 1~4. 3. 31
附属小学校教諭	横山 善実	2. 4. 1~4. 3. 31
附属中学校教諭	花田 修一	2. 4. 1~4. 3. 31
附属中学校教諭	秋山 晶子	2. 4. 1~4. 3. 31
附属高等学校教諭	石井 朋子	2. 4. 1~4. 3. 31
附属高等学校教諭	谷田部 玲生	2. 4. 1~4. 3. 31
附属幼稚園教諭	豊田 一秀	2. 4. 1~4. 3. 31
附属幼稚園教諭	田中 三保子	2. 4. 1~4. 3. 31

# 学 事

## ○ 平成4年度お茶の水女子大学大学院人文科学研究科（修士課程） 学 生 募 集 要 項

### 1. 専攻及び募集人員

専 攻 名	募集人員	専 攻 名	募集人員
哲 学 専 攻 { 哲 学 倫 理 学 美 学 社 会 学	8	英 文 学 専 攻	7
		教 育 学 専 攻 { 教 育 学 心 理 学	11
史 学 専 攻 { 日 本 史 学 東 洋 史 学 西 洋 史 学	7	舞 踊 教 育 学 専 攻 { 舞 踊 教 育 学 遊 戯 学 動 作 学 音 楽 学 演 奏 学	10
日 本 文 学 専 攻	6	※ 日 本 言 語 文 化 専 攻	※ 12
中 国 文 学 専 攻	3	合 計	70

※大学卒業後2年以上の日本語教育の経験を有し、現在、日本語教育に携わる在職社会人を含む。（8ページ参照）

### 2. 出 願 資 格 下記該当の女子とする。

- (1) 大学を卒業した者及び平成4年3月卒業見込みの者
- (2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (3) 文部大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (4) 本研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

### 3. 出 願 手 続

- (1) 入 学 願 書 用紙は本学で交付
- (2) 卒 業（又は見込み）証明書
- (3) 推 薦 書 指導教官又は主任教官により作成されたもの（形式随意）
- (4) 調 査 書 用紙は本学で交付
- (5) 健 康 診 断 書 用紙は本学で交付
- (6) 写 真 正面上半身の名刺型で、出願前3か月以内に撮影したもの  
願書の指定欄に貼付

- (7) 返信用封筒 郵送の場合に限り、宛先を表記し、62円切手を貼付
- (8) 受験承諾書 他大学の大学院に在学中の者は学長又は研究科長の受験承諾書  
在職中の者は所属長の受験承諾書
- (9) 検定料 24,000円

前記書類等を一括し、所定の期日までに本学に提出のこと。ただし、郵送するときは書留速達郵便とし、検定料は郵便為替で、受取人欄に「お茶の水女子大学」と明記し、封筒に「大学院人文科学研究科入学願書」と朱書すること。

なお、日本語文化専攻を受験する者は次の書類を含めて所定の期日までに本学に提出のこと。

- (10) 研究報告・計画書 大学における卒業論文・卒業研究の内容及び将来の研究計画を3,000字以内にまとめたもの（用紙は本学で交付）
- (11) 職務内容報告書 在職社会人のみ提出。日本語教育機関における職務の内容を1,000字以内にまとめたもの（用紙は本学で交付）

#### 4. 出願期間・願書受付場所

- (1) 出願期間 平成4年1月13日(月)から1月17日(金)までの間。  
ただし、15日(祝日)を除く。  
午前 9時から11時30分 午後 1時から3時  
郵送の場合は締切日までの消印有効
- (2) 受付場所 お茶の水女子大学文教育学部事務部  
〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号  
(地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅、有楽町線護国寺駅又は都バス大塚二丁目下車)

#### 5. 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験、調査書、健康診断書等(日本語文化専攻にあっては、研究報告・計画書、職務内容報告書を含む。)の結果を総合して行う。

- (1) 選考期日 平成4年2月4日(火)～2月5日(水)  
※ 日本語文化専攻のみ 平成4年2月4日(火)～2月6日(木)

## (2) 筆記試験・口述試験時間割

専攻名		2月4日(火) 筆記試験		2月5日(水) 口述試験 10:00~	備考	
		外国語 10:00~11:30	専門科目 13:00~15:00			
哲学専攻	哲学	英・独・仏・中国語の中から1か国語を選択する。ただし、中国文学専攻志望者が中国語を、英文学専攻志望者が英語を選択することはできない。(注1)	哲学	(注3)	学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。(注4)	
	倫理学		倫理学			
	美学		美学			
	社会学		社会学			
史学専攻	日本史学		日本史学	左の専門科目及び英・独・仏語のうち左記外国語試験で選択しなかった1か国語(注1)		
	東洋史学		東洋史学			
	西洋史学		西洋史学			
地理学専攻			地理学			
日本文学専攻			中国文学及び国語学			
中国文学専攻			中国語学及び中国文学			
英文学専攻		英語・英語学及び英米文学				
教育学専攻	教育学	教育学				
	心理学	心理学				
舞踊教育学専攻	舞踊教育学	西洋音楽又は日本音楽史	舞踊学及び論文 論文は志望する専攻出題の課題を選択する。 (注2)	舞踊実技を課することがある。 (注3)	学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。(注4) 論文に代わるものとして演奏を行った者は、卒試曲目を提出すること。	
	遊戯学					
	動作学					
	音楽学		演奏(任意の楽器又は声、曲目は自由)を課することがある。 (注3)			
	演奏学		10分程度の演奏実技(曲目は自由)を課する。 (注3)			



専攻名	2月4日(火) 筆記試験		2月5日(水) 2月6日(木) 口述試験 10:00～	備考
	外国語 10:00～11:30	専門科目 13:00～15:00		
日本語文化専攻	英・独・仏・中国語の中から1か国語を選択する。(注1)	日本文学 日本語教育法	主に研究報告・計画書、職務内容報告書(在職社会人のみ)にもとづいて行う。	

注1. 外国語の選択科目については、出願の際届け出るものとする。

注2. 舞踊教育学専攻(舞踊教育学、遊戯学、動作学)志望者に課す専門科目の論文は、志望する専攻に応じ課題のうちから選択し、論文(2,000字程度)を作成する。

注3. 口述試験は、主として志望する専攻又は学士論文について行う。

注4. 学士論文を提出できない事情のある者は、その旨申し出ること。

(3) 試験場所 お茶の水女子大学(東京都文京区大塚2丁目1番1号)

6. 入学料及び授業料 入学料 230,000円 授業料年額 375,600円

7. 合格者発表 平成4年2月14日(金) 12時頃、学内に氏名を掲示する。

合格通知書は、文教育学部事務部で受験票と引き替えに交付する。都合により当日来学できない合格者には、本人に郵送する。

#### 8. 注意事項

- (1) 同一年度に本研究科の2つ以上の専攻に出願することはできない。
- (2) 出願手続後は、書類の変更及び検定料の払い戻しは行わない。
- (3) 合格、不合格に関する問い合わせには一切応じない。
- (4) 「外国人留学生」に関しては、学生部学務課留学生係で取り扱うので、同係に問い合わせること。

お茶の水女子大学 ☎ 03-3943-3151 (代表)

〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号

## ○お茶の水女子大学大学院人文科学研究科修士課程概要

### 1. 目的及び使命

本学大学院は本学の目的、使命に則り、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的とする。

### 2. 修業年限 2年

### 3. 専攻及び収容定員

人文科学研究科に次の専攻を置き、収容定員は次のとおりとする。

専攻名	収容定員	総定員	専攻名	収容定員	総定員
哲学専攻	8	16	英文学専攻	7	14
史学専攻	7	14	教育学専攻	11	22
地理学専攻	6	12	舞踊教育学専攻	10	20
日本文学専攻	6	12	日本語文化専攻	12	24
中国文学専攻	3	6	計	70	140

### 4. 授業科目履修方法及び課程の修了

(1) 学生は2年以上在学し、それぞれの専攻の授業科目について30単位以上履修しなければならない。

ただし、研究指導を担当する教官が当該学生の研究上特に必要と認めた場合に限り、他の専攻、他研究科又は学部の授業科目を指定して履修させ、これを当該専攻の単位とすることができる。

(2) 課程の修了には、2年以上在学し、所要の単位を修得し、かつ学位論文を提出して最終試験に合格しなければならない。

### 5. 学位授与

本研究科において、課程を修了した者に対しては、修士の学位を授与する。

## 6. 主要授業科目・担当教官

専攻	授業科目	担当教官
哲学専攻	哲学特論・演習	教授 吉田夏彦 教授 土屋賢二 助教 羽入佐和子 助教 尾田幸雄 助教 高島元洋 助教 辻佐保子 助教 秋山光文 助教 宮島喬子 助教 江原由美子
	倫理学特論・演習	
	美学特論・演習	
	社会学特論・演習	
史学専攻	日本史学特論・演習	教授 大口勇次郎 助教 安田次郎 助教 小風秀雅 (未定)
	東洋史学特論・演習	教授 窪添慶文 (未定)
	西洋史学特論・演習	教授 山本秀行 (未定)
地理学専攻	人文地理学特論・演習	教授 井内昇 助教 栗原尚子 助教 田宮兵衛 (未定)
	自然地理学特論・演習	
	地誌学特論・演習	教授 内藤博夫 (未定)
日本文学専攻	上古中古文学特論・演習	助教 平野由紀子 助教 岩崎千鶴 教授 三木紀人 教授 浅井清樹 助教 大塚常樹 教授 大白藤禮幸 (未定)
	中世近世文学特論・演習	
	近代文学特論・演習	
	国語学特論・演習	
中国文学専攻	中国文学特論・演習	教授 佐藤保樹子 助教 宮尾正和 助教 藤山和子 助教 相原茂
	中国語学特論・演習	
英文学専攻	英文学特論・演習	教授 野島秀勝 助教 内田正雅 教授 酒本之江 教授 海老根静子 教授 宮川幸典 助教 今西典子
	米文学特論・演習	
	英語学特論・演習	

専攻	授業科目	担当教官	
教育学 専攻	(教育学)	教育学特論・演習	教授 上野 浩道
		教育史特論・演習	助教授 寺崎 弘昭
		教育社会学特論・演習	助教授 耳塚 寛明
		教育行政学特論・演習	教授 森原 隆夫
		教育方法学特論・演習	助教授 宮原 修
	(心理学)	教育経営学特論・演習	(未定)
		社会教育学特論・演習	教授 小川 剛
		博物館学特論・演習	助教授 鷹野 光行
		文化人類学特論・演習	教授 田中 真砂子
		教育心理学特論・演習	助教授 内藤 俊史
舞踊教育学 専攻	(舞踊)	舞踊教育学特論・演習	教授 片岡 康子
		遊戯学特論・演習	(未定)
		動作学特論・演習	教授 加賀 秀夫
	(音楽)	音楽学特論・演習	教授 石黒 節子
		演奏学特論・演習	教授 森下 はるみ
			教授 徳丸 吉彦
日本語文化 専攻	日本語文化学特論・演習	教授 三木 紀人生	
		助教授 市湊 夏夫	
		教授 水谷 和信	
		助教授 長友 和彦	
		助教授 平田 悦朗	
		助教授 大口 勇次郎	
		助教授 大今 典子	
		助教授 中内 弓子	
		教授 杉本 正哉	
		教授 石丸 昭二	
関連科目	独文学特論・演習	教授 杉本 正昭	
	仏文学特論・演習	教授 石丸 昭二	
		教授 石川 信宏	
		助教授 石川 弓子	

## 日本語文化専攻の概要

日本語文化専攻（独立専攻）は、日本語とその背景にある日本文化の考究を通じて、日本語教育に関する高度の研究者・実践的教員を養成するとともに、在職日本語教員の再教育をも行うことを目的とする。

### 日本語文化専攻社会人学生について

#### 1. 日本語教育の経歴等について

本専攻が対象とする在職社会人は、公的、私的とを問わず、各種の日本語教育機関で常勤又は非常勤で日本語教育に従事している者をいう。

「2年以上の日本語教育の経験」とは、上記の各種日本語教育機関で常勤又は非常勤の従事者としての2年以上であり、非常勤の特殊な勤務形態（たとえば、短期集中授業の講師等）として、通算して2年以上に達する場合も認められる。

在職社会人受験者は、職務内容報告書を提出すると同時に、「入学願書」の「履歴事項」職歴欄を特に詳しく記入すること。記入欄に書ききれない場合には別紙に記入してもよい。

#### 2. 履修形態

社会人学生の履修形態は、第1年次は、職場を離れ通常開講される授業及び研究指導を受け、第2年次については、職場に復帰し、定期的又は集中的に通学し、平日の夜間等に関講する授業及び研究指導を受けることができる。

夜間の開講については、火曜日と木曜日に、それぞれ17:20~18:50 19:10~20:40の2時間開講を予定している。

# 諸 報

## ○平成3年9月卒業式・学位記授与式について

本年9月卒業式・学位記授与式が9月30日(月)大学会議室(家政学部本館2階)で挙行された。

- ・卒業者 理学部 1名  
          家政学部 1名
- ・修了者 人文科学研究科 6名  
          家政学研究科 1名



## ○火災予防業務協力等に対する表彰について

本学自衛消防隊が、東京消防庁より表彰された。



## ○総合防災訓練について

10月2日(水)教職員と学生を対象に、大地震の発生を想定した防災訓練が行われた。



(避難器具を使つての訓練風景)



## ○海外渡航

所属・職名	氏名	渡航先国	渡航目的	期間	渡航種目
文教育学部 ・助教授	相原 茂	中華人民共和国	外国人中国語教員夏期研修班への参加と資料収集	3. 7.15～ 3. 8.21	海外研修
家政学部 ・助教授	松浦 秀治	台湾	台湾の更新世及び完新世人骨の研究	3. 8.12～ 3. 8.21	外国出張
文教育学部 ・助教授	内田 正子	連合王国	ヴィクトリア・アルバート美術館及び大英図書館における研究資料収集	3. 8. 4～ 3. 8.25	海外研修
理学部・教授	小山 敏子	オランダ領 アンティル諸島	アーベル群国際会議出席	3. 8.13～ 3. 8.26	海外研修
文教育学部 ・助教授	宮原 修	中華人民共和国	日本語教育国際セミナー参加のため	3. 8.20～ 3. 8.26	海外研修
文教育学部 ・教授	吉田 夏彦	スウェーデン王 国・オーストリア 共和国	国際科学史・科学基礎論連合第9回科学基礎論部会総会出席及び不完全性定理の60年セミナー出席	3. 8. 6～ 3. 8.26	海外研修
理学部・教授	前田 侯子	中華人民共和国	第4回アジア化学会議に参加し発表するため	3. 8.25～ 3. 8.31	海外研修
理学部・講師	小野 薫	ドイツ連邦共和国	マックスプランク研究所に於いて幾何学の研究を行う為	3. 8.29～ 3. 9. 2	海外研修
家政学部・講師	田辺 新一	デンマーク王国 ドイツ連邦共和国	サーマルマネキンに関する研究打合せ	3. 8.25～ 3. 9. 7	外国出張
理学部・助手	飯田 潤二	連合王国	国際磁気会議 (ICM) 出席	3. 8.30～ 3. 9.23	海外研修
理学部・教授	伊藤 厚子	連合王国	中性子散乱国際会議及び磁気国際会議に出席および発表のため	3. 8.26～ 3. 9. 8	海外研修
家政学部・教授	中島 利誠	アメリカ合衆国	被服生体工学に関する資料収集	3. 9.14～ 3. 9.24	海外研修
理学部・教授	細矢 治夫	カナダ	ハラリー教授記念シンポジウムにて講演のため	3. 9.11～ 3. 9.16	海外研修
文教育学部 ・助教授	小風 秀雅	アメリカ合衆国	国立公文書館所蔵史料の調査研究	3. 8.12～ 3. 9.17	外国出張
文教育学部 ・教授	宮島 喬	フランス共和国 ドイツ連邦共和国	EC 統合問題についての資料収集のため	3. 9.15～ 3. 9.21	海外研修
文教育学部 ・教授	井内 昇	連合王国 イタリア共和国	ロンドン、ミラノ両大都市圏内部市街地変容の現地調査及び資料調査	3. 8.28～ 3. 9.23	海外研修
理学部・教授	伊藤 厚子	中華人民共和国	メスパウア効果応用国際会議に出席および発表のため	3. 9.14～ 3. 9.24	海外研修
理学部・助手	森本 せつ	中華人民共和国	メスパウア効果応用国際会議に出席および発表のため	3. 9.11～ 3. 9.24	海外研修
家政学部・教授	森田 明	ポーランド人民 共和国 スイス連邦 連合王国 他	ヨーロッパ諸国における「児童の権利条約の実施過程に関する調査研究」のため	3. 9. 4～ 3.10.21	海外研修
生活環境研究 センター・教授	倉田 忠男	カナダ	第8回世界食品科学工学会議に参加研究発表及び資料収集	3. 9.28～ 3.10. 5	外国出張
家政学部・助手	矢野 素子	カナダ	第8回世界食品科学工学会議に参加し、資料収集のため	3. 9.28～ 3.10. 6	外国出張

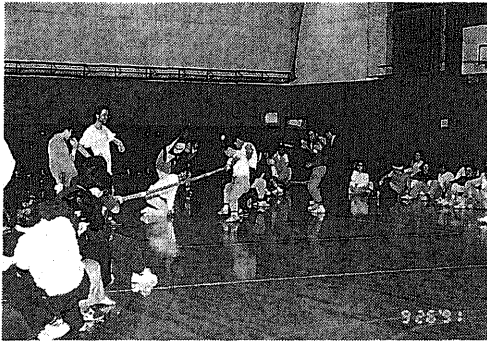
## ○研 修

名 称	実 施 日 時	対 象 者	終 了 者	主 催
平成3年度放射性同位元素等取扱施設教職員研修	平成3年9月18日 ～9月19日	各放射性同位元素等取扱施設における放射線安全管理担当教職員。	理学部・放射線取扱主任者 所 哲司	文部省及び東京大学アイソトープ総合センター
平成3年度国立学校等課長(事務長)補佐研修	平成3年10月1日 ～10月4日	国立学校等の課長補佐及び事務長補佐で、原則として年齢50歳以下の者のうち、各機関の長の推薦を受けて、文部省大臣官房人事課長が決定する者。	会計課課長補佐 海老原 葵 学務課課長補佐 三井田 勝	文部省及び東京大学
第42回文部省会計事務特別研修	平成3年9月24日 ～10月9日	現在会計事務に従事し、かつ、1年以上会計事務の経験を有する者又はそれに相当する者で、原則として年齢25歳以上30歳以下の者。	会計課・用度係員 山本 直之	文 部 省
平成3年度教職員中央研修講座	平成3年7月16日 ～8月6日	小・中・高等学校、幼稚園の校長、教頭の指導主事、管理主事で56才以下の者。	附属高等学校教頭 早崎 捷治	文 部 省
平成3年度産業教育指導者養成講座(技術・家庭系列)	平成3年7月29日 ～8月2日	中学校・高等学校の産業教育担当教員の関係指導主事で各都道府県の指導的立場にある者。	附属中学校教諭 木下 精子	文 部 省
平成3年度情報処理教育担当教員等養成講座(基礎コース)	平成3年8月6日 ～8月17日	中学校の技術担当教員の指導主事で、コンピューターの基本的な機能についての知識を有し、IF～THEN文を用いたプログラミングとファイルの処理ができる者。	附属中学校教諭 石田 勉	文 部 省
情報システム統一研修(第7回OA推進コース)	平成3年8月30日 ～9月13日	事務管理部門、企画調整部門、又は情報処理部門において、事務の管理改善及びOA化の推進業務に従事する職員	会計課・情報処理係長 峯村 薫	総 務 庁



## ○レクリエーション行事

行 事 名	実 施 日 時	参加者数	内 容 ・ 入 賞 者	実 施 場 所
平成3年度職員映画鑑賞(第1回)	平成3年7月20日 ～8月31日	135人	題名 「ホーム・アローン」・「バックドラフト」・「シザーハンズ」・「ペンタの空」 他	都内近郊映画館
平成3年度職員綱引き大会	平成3年9月26日	68人	優 勝 学生部チーム 準優勝 施設課チーム 第3位 会計課チーム	大学体育館
国際水族館と展望台	平成3年9月20日	60人	見学並びに観覧	サンシャインシティ



(綱引き大会)



(優勝した学生部チーム)

## ○健康診断

事 項	実 施 日 時	対 象 者	受 信 者 数	実 施 場 所
平成3年度職員特別定期健康診断(第一次)	平成3年9月20日	自動車運転手	3人	保健管理センター

### ○共済組合事業の実施状況等について

お茶の水女子大学共済組合事業の実施状況等（過去3年間）について、下記のとおりお知らせします。

なお、各年度とも3月末日現在の状況です。

#### 1. 組合員数、被扶養者数（ ）内は任意継続組合員数で外数

区 分	組 合 員 数			被扶養者数
	男	女	計	
	人	人	人	人
昭和63年度	( 4) 253	( 9) 149	( 13) 402	( 6) 443
平成元年度	( 7) 250	( 11) 152	( 18) 402	( 9) 438
平成2年度	( 12) 249	( 9) 156	( 21) 405	( 10) 443

文部省共済組合 (173支部)	人 (2,258)	人 ( 968)	人 (3,226)	人 (2,491)
平成2年度	100,311	34,134	134,445	211,866

#### 2. 短期掛金等収入、医療給付額

区 分	掛金等収入	医療給付件数	医療給付額
	千円	人	千円
昭和63年度	75,165	6,815	69,429
平成元年度	77,418	6,343	65,694
平成2年度	85,580	7,024	84,965

#### 3. 共済貸付金

区 分	昭和63年度		平成元年度		平成2年度	
	件数	貸付金額	件数	貸付金額	件数	貸付金額
		千円		千円		千円
一 般 貸 付	45	22,542	45	25,060	44	26,534
住 宅 貸 付	16	7,639	16	6,550	12	4,463
特別住宅貸付	67	201,142	63	180,716	55	186,926
特例住宅貸付	—	—	—	—	—	—
特 別 貸 付	13	3,891	8	4,448	13	13,931
財形持家融資	2	13,757	2	12,809	1	8,525
計	143	248,971	134	229,583	125	240,379

## 4. 共済積立貯金、団体積立終身保険

区 分	共 済 積 立 貯 金			団 体 積 立 終 身 保 険		
	貯 金 者	貯 金 額	加 入 率	加 入 者	加 入 額	加 入 率
	人	千円	%	人	千円	%
昭和63年度	139	144,137	34.5	65	44,137	16.1
平成元年度	139	170,040	34.5	73	50,855	18.1
平成2年度	140	194,017	34.5	76	60,233	18.7

## 5. 人間ドッグ受診者数

区 分	昭和63年度		平成元年度		平成2年度	
	組 合 員	配 偶 者	組 合 員	配 偶 者	組 合 員	配 偶 者
	人	人	人	人	人	人
1泊2日コース	21	2	18	3	22	2
日帰りコース	51	11	66	14	74	7
計	72	13	84	17	96	9

## 日 誌

## ◇ 諸 会 議

- |   |  |
|---|--|
| <p>9月3日(火) 部局長会議<br/>評議会</p> <p>5日(木) 理学部学科主任会議</p> <p>6日(金) 事務連絡会議</p> <p>11日(水) 外国人留学生委員会<br/>人間文化研究科会議<br/>文教育学部学科主任会議</p> <p>12日(木) 教務委員会</p> <p>13日(金) 自然科学紀要編集委員会</p> <p>17日(火) 部局長会議<br/>各学部学科主任会議<br/>附属臨海実験所運営委員会、女性文化研究センター委員会<br/>東京地区国公立大学厚生補導部課長会議(東京水産大学)</p> <p>18日(水) 各学部教授会<br/>研究科委員会<br/>附属学校教育研究委員会</p> | <p>19日(木) 将来構想検討委員会</p> <p>20日(金) 一般教育・教務合同検討委員会</p> <p>24日(火) 部局長会議<br/>防災委員会<br/>附属学校委員会</p> <p>25日(水) 評議会</p> <p>10月3日(木) 関東甲信越地区庶務部課長会議<br/>(4日まで、於山梨大学)</p> <p>4日(金) 事務連絡会議<br/>附属学校委員会</p> <p>7日(月) 一般教育・教務合同検討委員会</p> <p>8日(火) 学生委員会・学生協議会<br/>学生会館運営委員会</p> <p>9日(水) 評議会<br/>基本計画委員会<br/>教務委員会</p> <p>14日(月) 人文科学紀要編集委員会</p> <p>15日(火) 部局長会議<br/>各学部学科主任会議</p> |
|---|--|

入学者選抜方法研究委員会  
学寮委員会、学寮協議会  
関東甲信越地区国立大学事務局長会  
議（16日まで、於新潟大学）

### ◇行事等

- 8月19日(月) 平成4年度家政学研究科入学願書受付(23日まで)
- 26日(月) 平成4年度理学研究科入学願書受付(30日まで)
- 28日(水) 平成3年度国立学校事務電算化講習会(30日まで、東京ガーデンパレス)
- 9月2日(月) 附属高・中・小学校始業式
- 5日(木) 人事院・給与簿監査
- 9日(月) 理学研究科入学試験(10日まで)
- 10日(火) 家政学研究科入学試験
- 18日(水) 文部省共済組合実地監査  
日本語・日本文化研修生修了証書授与式
- 19日(木) 理学研究科、家政学研究科入学試験合格発表
- 22日(日) 附属高等学校輝鏡祭(23日まで)
- 25日(水) 外国人留学生見学旅行(27日まで)
- 26日(木) 教職員綱引き大会
- 28日(土) 公開講座(第1回)  
附属中学校文化祭(29日まで)
- 30日(月) 平成3年9月卒業式・学位記授与式
- 10月1日(火) 平成3年度国立学校等課長(事務長)補佐研修(4日まで)
- 2日(水) 総合防災訓練
- 5日(土) 公開講座(第2回)
- 12日(土) 公開講座(第3回)